

質問事項	質問の要旨
<p>1 原発再稼働と避難計画の問題点</p>	<p>11月19日に栗原市の避難施設15か所を視察しました。避難者受付センターとなる若柳総合体育館は、女川町民6,490人と石巻市民10,300人の方が受付を行い、それぞれの避難施設に振り分けられる受付所です。民間委託された職員に話を伺うと、「避難者の受付の事は何も指示されていない。駐車場は170台分」との説明でした。16,000人余りの半数が車で避難した場合、8,000台が集中することとなり、その渋滞ぶりは想像を絶します。また、各避難場所についても、総じて駐車場の数、感染対策後の収容予定人数等に疑問が生じました。</p> <p>(1) 避難場所の選定において、なぜ、畑岡公民館と高清水中学校を外したのですか。18か所の避難場所すべてを現地確認し、施設ごとの駐車場の台数を調査し、必要分は確保していますか。</p> <p>(2) 避難施設の感染対策は国のガイドラインに従いあらかじめ行うとの事ですが、避難施設ごとに、広さの確保は確認していますか。国の基準では一人当たり2㎡から4㎡、6㎡に広がっています。感染症対策をした場合の施設ごとの定員はどうなりますか。</p>

質問者 高野 晃

質問事項	質問の要旨
	<p>(3) 栗原市と議事録を作成した協議は何度行って きましたか。その中で、栗原市職員の協力体制 や女川町職員の各施設への配置、食料や備品の 備蓄計画はどうなっていますか。</p> <p>感染症対策を取った場合、女川町民の避難 先が栗原市だけでは不足するのではありませ んか。石巻市民も栗原市の築館、栗駒、一 迫、金成等に避難するため、栗原市内の避難 場所はもう増やせないと思われます。避難計 画をもう一度抜本的に見直す必要があると思 いますが、いかがですか。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>

質問者 高野 晃

質問事項	質問の要旨
<p>2 町職員等のコロナ対策は十分か</p>	<p>現在コロナ第3波に入り、連日新規感染者が増加傾向にあり、感染経路も職場や食事会から家庭に持ち込まれる状況がみられる中、経路不明も増加しています。</p> <p>(1) 全国的には業務に起因する自治体職員のコロナ感染件数が増えている中、本町のコロナ対策は第2波の時と変わっていないように思われます。石巻管内でも感染者が増え、誰が感染してもおかしくない今、対策会議の開催や新たな町職員等の感染対策は取られていますか。</p> <p>(2) 北海道清水町では11月24日、役場内でクラスターが発生し、窓口業務を取りやめ、来庁者の立ち入りを禁じる封鎖措置に踏み切る事例も出ています。県内でも学校、保育所、病院、介護施設でのクラスターが発生している状況にあり、本町でも感染者が出るのは避けられないと思われます。しかし、ここで町職員等からのクラスターを発生させないためにも、職員等に対して月1回のPCR検査を実施すべきではありませんか。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>